

より身近な病院へ

フェイスブック開設

安曇野日赤 HPと一味違う

安曇野赤十字病院（澤海明人院長）は、インターネット上の会員制交流サイト「フェイスブック」に公式ページを開設した。院内に展示しているアート作品の紹介や職

内容となっている。

「病院と地域住民をつなぐ新しいコミュニケーションのツールになれば」（同院）と、9月に開設した。

イベント情報のほか患者のサポート役を担うホスピタルアテンダントの紹介や、インフルエンザの基礎知識といった季節の話題、院内レストランの新メニューなど掲載する内容はさまざま。主に

入院案内や診療科紹介など、患者が病院にかかる上で不可欠な情報を扱うホームページとの差別化を図っている。

同院は「日常の小さなニュースを知ってもらふことで、病院をより身近に感じてもらえたらうれしい」と話している。

県内の病院では、ほかに市立大町総合や長野中央などが同様の取り組みを実施している。